県政に活力！ 地域にぬくもりを！

長崎県議会議員
やまぐち　はつみ

山口はつみだより

No.37

平成26年４月　発行責任者：山口初實　編集責任者：髙田祐樹

中村県政２期目スタート！

春爛漫の季節を迎えました。皆様におかれましては、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

県知事選挙を終え中村県政２期目がスタートし、３月定例月議会が終了いたしました。

今年の県政の課題は、県民所得の向上に向けた諸施策の展開であり、もう一つはながさきがんばらんば国体および障害者スポーツのがんばらんば大会を成功させることです。

県民所得の向上に向けた取り組みでは

一つは経済のステップアップ。所得向上を実現するたくましい産業づくりに力を注いでいくこと。

農林水産業や製造業、観光業などについて、数値目標を掲げ具体的な振興策を講じること。

二つ目は、世界へのステップアップ。グローバル化が急速に進展する中、世界に通用する新たな長崎県づくりを進めていくために多様な産業の海外展開を支援し、その活動範囲もアジア諸国から中東や欧米諸国にまで拡げ、海外の活力を積極的に県内経済に取り組んでいく必要がある。

三つ目は、快適さのステップアップ。少子高齢社会が進展し、人と人とのつながりが希薄になる中、医療や福祉、介護、教育、子育てなどの様々なニーズにきめ細かく応えていくためには、これらを社会全体で支えあう仕組みを創る必要がある。

２元代表制の一翼を担う地方議会の果たす役割及び責務はますます増大している。私たち議員の課題は県政全般にわたり積極的に提言を行うことにあります。

ながさきがんばらんば国体、および障害者スポーツのがんばらんば大会の取り組みでは

開幕まで２００日を切り、いよいよ最後の準備段階に入りました。

大会期間中は述べ90万人の参加者が見込まれ、全国から多くの方々が本県を訪れることから、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信し、交流人口の拡大につなげていく必要があります。

長崎県議会議員
山口 はつみ

君の夢、はばたけ今、ながさきから
2014年長崎国体・スローガン

農水経済委員会報告

農水産品輸出拡大に向け香港現地調査！

農水経済委員会では、県産農水産品の輸出拡大に向けた調査及び拡販について、香港で現地調査を行いました。

独立行政法人ジェトロ香港、シティスーパー、日本食品の輸入卸売業者、日本料理店、福岡県の香港事務所を訪問し、日本の農水産品の輸出入取り扱い状況やスーパーなどの店舗の状況、倉庫の状況について調査を行いました。

優良な魚、野菜、果物、そうめん、酒等需要が高い長崎県産品を今後いかにスピーディーに大量に輸出して、県内の産業活性化にどう結び付けるかが、これからの課題であると受け止めてきました。

長崎県としては、流通の簡素化によるスピードアップ、流通コストの削減、長崎空港及び長崎港の整備、そして定期路線の確保が喫緊の課題です。

香港シティスーパーにて（九州産みかん販売ブース）

農水経済委員会での質疑の状況について概略報告いたします。

農産物輸出対策関係事業について

【質問】香港での現地調査において、バイヤーは農産物だけではなく、いろいろなものを求めているということが分かったが、事業概要にある水産物等との連携とは、具体的にどのような内容か。

【回答】バイヤーの招致は水産部と一緒に行い、農産物だけではなく、水産物も見てもらうようにしており今後も続けていく。水産物については、中国や香港に冷凍・冷蔵での輸送を先行して実施しているが、農産物については、現在、植物検疫の関係でほとんど輸出できない。香港については水産物と共同での輸出ができないか、横の連携を図りながら検討して行きたい。

農地中間管理機構について

【質問】農地法の改正により、今年４月から農地中間管理機構による農地の集積・集約化のための事業が開始されることとなるが、先祖代々の土地への思い入れなどもあり、農地の集積を進めることは容易ではないと思われる。貸し手と借り手の意向の違いにより、問題が生じることも想定されるがどの様に対応していくのか。

【回答】初めての取り組みであり、事業を進める中で様々な課題が生じる可能性があるが、個別の事情に応じたマッチングを進めていきたいと考えている。『人・農地プラン』の一つの大きなツールとして、地域の実情に応じながら取り組みを進めていきたい。

佐世保つくも工業団地の整備事業費について

【質問】補正の減額と不用額を合わせると約５億５４００万円で、26年度当初予算には、ほぼ同額の５億６千万円が計上されている。地元調整が難航しているため、工事着手できないと聞いているが、現在の状況は。

【回答】昨年12月に佐世保市長同席の上、知事が地元関係者を訪問し、協議を行った結果、協議が再開できることとなった。地元関係者の同意を得て工業団地造成工事に着手できるように取り組む。

【意見】５億６千万円の予算を有効に活用できるよう、早期着工に向けて努力してほしい。

農業用ハウスボイラーの導入について

【質問】長崎県はチップを燃料として計画しているが、ペレット化したものとのコスト比較は。

【回答】値段は燃料単価で木質ペレットが44円／kgで木質チップが15円／kgとなっている。

10アール当たり最低温度24℃を確保する際に

- A重油で２４０００リットル必要となり総額２４０万円
- 木質ペレットで４万４０００kg必要となり燃料代は総額１９０万円
- 木質チップで83万円となる

コラム江戸町

今次３月定例月議会は、極めて憂慮すべき事態が起きた。

私たちは、「連立会派」から統一会派、「改革21・新生ながさき」に変更を余儀なくされたことにはじまり、今日まで進めてきた県議会、県政改革が多数派となった自民会派の横暴により悉く否定されている。

先ず、全国初の通年議会の廃止、県議会・県政改革特別委員会の廃止、百条委員会の廃止、広聴広報協議会の廃止、条例制定検討協議会の廃止等、全国の県議会より高い評価を頂いている長崎県議会の新制度がつぶされた状況となってしまった。

具体的な報告は、「県政を語る会」でご報告いたしますので、多数ご参加ください。

★県政を語る会in諫早
・日　時　４月11日（金）18時30分～20時まで
・場　所　諫早高城会館

ご相談はお気軽に！

長崎県議会議員
山口はつみ
事務所：TEL･FAX 0957(43)2800
自　宅：TEL･FAX 0957(44)1003
携　帯：０９０（２５１４）９８３５
E-mail:hatumi@mrh.biglobe.ne.jp

３月定例月議会報告

通年議会閉会！

３月定例月議会は県知事選挙終了後３月４日から３月28日まで開催し、平成26年度一般会計当初予算に３月補正予算を加えた７１８６億円をはじめ予算議案14件、条例議案48件、事件議案14件及び平成25年度補正予算13件他、人事議案等96議案について可決・同意・採択しました。

私は一般質問に登壇し、長崎県をいかにして元気にするかを基本認識として、長崎県総合計画、労働行政、道路網整備等大きくは６項目について県当局を質しました。

一般質問に登壇。県政を質す！

◆知事２期目に向けた基本姿勢に変動はないか

【質問】知事は選挙戦を通じ県内各地域の現場の実情に触れ、どの様に受け止められ、総合計画の基本姿勢にいささかの変動もないのか。

【回答】県内各地域を巡り、多くの県民と話をしたが、想像以上に厳しい現状に直面しており、強い危機感を持った。今後もこれまでと変わらず、人を大切にする県政を県政運営の基軸に置きながら、これまで以上に県民の総合力を結集することによって具体的な成果に結びつける。

【意見】総合計画を絵に描いた餅としないためにもしっかりと成果を出す。

◆障害者雇用に向けた企業誘致を急げ！

【質問】障がい者の方たちの就労意欲、あるいは雇用を満たすための企業誘致が望まれている。何度も要請を行っているが、障がい者の方からはＩＳＦネットライフの誘致については一刻も早い実現を期待されている。状況と見通し、時期については。

【回答】東京本社を訪問して当該企業の進出状況の把握につとめてきており、同社幹部と面談し本県に進出するに当たっての立地条件について意見交換を行った。

今後は、具体的な企画提案を行うなど進出を強く働きかける。

◆国道２０７号の早期整備を！

【質問】佐瀬工区については、今年度から国の交付金事業として舟津～崎辺田まで2.5㎞が整備を進められており、地域住民一同、心から安堵し早期整備に期待している。しかし崎辺田～長与町界までの2.9㎞については未着工であり、早期整備に向けた着工認可が課題となっている。早期整備を望んでいるが。

【回答】今年度、舟津地区の工事促進と、五十石地区についても工事に着手し、平成29年度の完成を目標に整備推進している。未着手区間については進捗状況を見てから取り組む。

【質問】カヌー競技に向けて輸送用大型トラックが出入りする、木床工区は国体までには完成を！

【回答】平成19年度から1.1㎞の整備を進めている。用地取得が完了した。平成27年完成を目指しているが国体開催までには木床交差点の前後２００ｍ区間が完成し安全な通行が可能になる。

◆水酸化マグネシウムによる大村湾の底質改善は国家事業で！

【質問】大村湾奥部はＣＯＤも基準値を大きく超えており、またヘドロが堆積して異臭を放つなど、底質改善は猶予ならない状況である。水酸化マグネシウムによる底質改善実証試験の結果を受けて、どう取り組むのか。

【回答】平成25年度の調査結果は取り纏め中であるが、今年度中に県、長崎大学、組合長会からなる大村湾底質改善実証評価会議において評価、検証を行ったうえで、国の事業で採択できるように水産庁に報告する。

◆農水産品の輸出拡大を図れ！

【質問】農水経済委員会で香港における日本の農水産品の輸出入取り扱い状況やスーパー等店舗の状況、倉庫の状況などについて調査を行った。優良な魚、野菜、果物など長崎県産品を今後いかにスピーディーに大量に輸出することが、県内の産業活性化に結び付けることになると判断する。そのためには、輸出に向けた流通を簡素化しスピードアップを図り、流通コストを削減することが勝負になる。長崎空港、長崎港を拠点とした取り組みは。

【回答】国際航空貨物は上海へ県産鮮魚を輸出しているが、キャパシティの制約を受けるケースも増えている。国際航空貨物の増加を図るとともに、国際航空路線の増便や長崎空港の運用時間の延長等を図りながら物流拠点として機能強化する。

長崎から香港への航路による農水産物の輸出は、釜山経由で3日から5日間の輸送日数で輸出が可能である。今後段階的に貨物を確保して、長崎～香港間の定期航路の確保につなげる。

◆県立総合運動公園陸上競技場の恒久的な駐車場対策について

【質問】駐車場対策については、知事説明によれば２０００台収容との見解が示されているが、３０００台分が必要であると思われるが現状の取り組み状況は。

【回答】野球広場とソフトボール場を利用して、既存の駐車場と合わせて約２０００台分を確保する。車を乗り入れてもわだちができにくい構造とすることで、通常は野球やソフトボールで使用し、大規模イベント時には駐車場として利用できるようにする。

障害者雇用働き掛ける

改革21・新生ながさき・諫早市　山口（やまぐち）　初實（はつみ）議員

―二元代表制の在り方をどう捉えているか。

中村知事　県民の代表である県議会は、行政執行権のある県に対し、適切な行政運営がなされているか監視し、議決を通して意思決定をする重要な役割を担っている。県議会と理事者である県は互いに緊張関係を持ちつつ、車の両輪として県政推進に努力していくべき関係にある。

―障害者雇用に向けた企業誘致の状況は。

山田伸裕産業労働部長　本県進出を検討している企業を訪れ、幹部とも面談するなどして立地条件などについて意見交換している。今後、具体的な提案をして強く働き掛けたい。

（３月12日付　長崎新聞）

活動スナップ

一般質問を傍聴頂いた皆さんありがとうございました（県庁玄関）

県政を語る会in島原で県政報告（島原文化ホール）

県連定期大会で開会挨拶（サンプリエール）

山口はつみ後援会長杯ゴルフコンペ（喜々津CC）